

令和元年度 第4回政策討論会第一分科会要点記録
『企業誘致について』

日 時 令和元年 10月 21日 (月) 13時 00分～14時 15分

場 所 第一委員会室

出席者 西田武史 (座長)、井舎英生 (副座長)、
倉田賢一郎、田中市子、烏野隆生、桑原佳一、松本妙子、鳥居宏次

本日の討論会では、テーマに対して明確な目的の共通認識を図るため、各委員が他市の先進事例について発表し話し合った。各委員の発言要点は、以下の通りです。

① ○貝塚市ユニチカ跡地利活用

貝塚市 JR 東貝塚駅周辺の企業誘致では、H28年 10月、貝塚市としては2店舗目の「くら寿司」を誘致。ロボットなどを使って営業面で工夫。2店舗とも繁盛している。

ホームセンタームサシの横に朝日新聞社主催の温水プールが、2020年3月に開業予定。

貝塚市の全小学校にはプールがなく、水泳の授業は市民プールに通っていた。温水プールが開業することで、四季、天候に関係なく、水泳授業ができることになる。

日本生命の誘致で、野球グラウンド・卓球施設が整う。

「卓球の貝塚」を目指しての取り組みは、公立幼稚園の教師に日本生命の卓球部が指導にあたり、先日はリオデジャネイロオリンピックの全日本監督であった村上氏を招きイベントを開催。

12月7日・8日「日本Tリーグ」を開催予定。

○和泉市テクノステージ

産業団地を100区画開発。

ホテルルートインの誘致、コストコ、ららぽーとなど、多くの人で賑わう街となる。

桃山学院大学の誘致により、7000人近い学生たちが、和泉府中駅や和泉中央駅からバス通学など交通機関も発展、駅周辺の整備や学校周辺には、たくさんの中小企業の会社も建ち並ぶ。

府立横山高校跡地に関西トランスウェイスportsスタジアムを建設。

指定管理者はミズノグループ。

和泉市と岸和田市はよく似た環境で、参考にできる面も多いのではないかと。

② 今回のテーマは、企業誘致に関する他市の先進事例ということで、私は福岡市の企業誘致政策に着目しました。今日本は全国的に人口減少社会に突入しています。そんな中、福岡市は数少ない人口が増加している都市です。その理由としてまず初めに考えられるのが企業誘致の成功ではないでしょうか。福岡市は

2012年に「スタートアップ都市」を宣言し、その後「グローバル創業・雇用創出特区」として国家戦略特区の指定を受けました。スタートアップの法人税減税など様々な企業誘致政策を実現しています。中でも、LINE Fukuoka、ピックアップ、メルカリなどの大手IT企業の進出が目立ちます。「エンジニアフレンドリーシティ福岡（エンジニアが集まる、活躍する、成長する街）」を標榜し福岡でキックオフイベントを行い、都内では福岡市長がエンジニアたちと触れ合う事業を実施。いわゆるトップセールスで都内の若者に対して福岡のPRを行っています。このように、特定の業種に特化したPRが企業誘致の成功につながっている良い例ではないでしょうか。本市においても、IT企業に限らず、特定の業種に特化した企業誘致は有効な策であると考えます。

- ③ 企業誘致は、それぞれの自治体によって環境が違うことが多い。成功事例を探す事より、本市が持っている特徴や立地条件をもとに企業にアピールする事が重要であり、臨海部への企業誘致を目指すべきである。
- ④ 岸和田駅前通商店街～蛸地蔵商店街など、空き店舗をIT企業などが利用できるようにし、街の活性化や観光の発展につなげる。そのための支援制度としては、丹波市が行っている「IT関連事業所振興支援事業補助金」「丹波市オフィス立地促進補助金」などがある。若者の地方移住希望が増えていることもあり、住むところと合わせての制度を考えられるとよいかと思う。岸和田ビジネスサポートセンターも開設されるので、相談体制もとれる。インバウンドという点では、空き家などを生かしたゲストハウスという方法もある。
- ⑤ 貝塚市の先進事例のうち「せんごくの杜」について学んだ。産業・教育・福祉・防災など、多目的に活用している。平成25年3月に千石荘病院等跡地利活用構想計画を策定し実行中。総面積37haでピクニックセンター跡地エリア、病院跡地エリア、里山エリア、旧養護学校・旧少年保養所エリアの4エリアからなる。特殊な事例ではあるが参考になるところもある。
- ⑥ 他市の事例として、新潟県妙高市の食と農を基軸に自然志向型企業を積極的に誘致、豊かな自然環境を生かし、妙高ブランドビジネス産業事業として安全安心な食の確保という新たな方向性を打ち出している。また、民間出身の市長は独自のネットワークで企業情報を収集してトップセールスを展開、本市においては、山から海まで自然な食材が取れることを起点に、現在、大阪以南での、大規模な地方卸市場を民間と共同する公設民営化市場として誘致してはと考える。
- ⑦ 商店街空き店舗や中古住宅等へ観光宿泊客（インバウンド）向けのホテル（SEKAI HOTEL）を誘致する。
大阪市此花区西九条、東大阪市布施駅前商店街、大阪市浪速区恵美須町等の例

も参考にする。会社情報：SEKAI HOTEL 株式会社（大阪市）

また、和歌山県白浜町が、I Tビジネス企業 11 社を誘致している実績があるので参考にしたい。

- ⑧ 兵庫県丹波市では、企業誘致の為に「事業用地ナビ」と言うリーフレットを作成し、インターネット等も活用しながらわかりやすく、広く助成制度と場所の告知を行っている。特に、I T企業を誘致する為の制度もうたわれており、他市でもI T企業をターゲットにした戦略をよく耳にするが、本市も、空き家や空き店舗を活用したI T企業向けの戦略を行うべきだと思う。ちなみに、総務省の助成制度として、「おためしサテライトオフィス」と言うものがあり、大阪府内では守口市が先進的に行っている。少しでも市の負担を軽減する為にも国のこの様な制度を活用すべきだと思う。

※ 次回は、本市の魅力がどんなもので、それをどう生かし企業誘致に持っていかれるかについて話し合う。